

活動名		葉っぱでスタンプエコバッグ				
概要	○葉を観察し、作品のイメージをわかせて、その葉に絵の具で色をつけ、布にスタンプして思い思いの作品をつくる。					
ねらい	○自由な発想で思い思いに作品づくりを行うことによって想像力を養う。 ○写し出された葉の様子を楽しむことで、自然物に興味関心を抱くきっかけをつくる。 ○アクリル絵の具の取り扱いを学ぶ。					
関連教科等	図画工作・理科・生活・総合					
指導形態	①自主活動で実施、②職員は活動の説明のみ行う、③職員が指導を行うことが可能					
時期	通年	時間帯	日中		対象	幼児～
場所	野外及び創作棟	人数	～80人／1部屋		所要時間	1～2時間 (落葉拾いや葉集めから始めるのがおすすめ)
準備物	施設で準備できるもの			団体・個人で準備するもの		
	エコバッグ(A4サイズ)、アクリル絵の具、筆、水入れ、パレット、ドライヤー、新聞紙、ティッシュ、穴開け用の竹、木づち、ハサミ			汚れてもいい服(必要に応じて) 葉		
進め方・展開例						
内容				留意点		
活動前	○事務室で打ち合わせを行う。 ・ねらいの確認 ・人数、材料の数、活動の進め方			○職員からの指導が活動の説明のみの場合は、活動の進め方や安全面、片づけ等について十分確認する。		
活動の説明	(必要なだけ葉を集める) ○作成手順を理解する。 ・集めた葉を観察し、どんな作品にするのかイメージを持つ。 ・葉に色をつけ、布にこすりつける。(スタンプする。) ・ドライヤーで乾かす。 ・友達の作品を鑑賞する。			○作りながらイメージを広げていってもよい。 ○自然界には、様々な色や形の植物があることに目を向けさせる。 ○危険な動植物への注意を促す。(ウルシ、ハゼ、害虫、スズメバチ、マムシ等) ○自然保護の観点から葉っぱは必要以上に採取しないようにする。		
展開	○葉を集める活動(どんぐりの谷や池の周り等) ○作品をつくる活動 ①使う道具を準備する。(新聞紙、絵の具、筆、水入れ、パレット、ドライヤー等) ②どんな作品にするのかイメージを広げる。 ③使う絵の具を必要な量だけ出し、葉に色をつける。 ④絵具を塗った葉を布に置く。その上に新聞紙を置き、しっかり押しつける。 (必要な場合は、これを繰り返す) ⑤ドライヤーで乾かす。			○落ち葉拾いは自然遊びとつなげてよい。 ○絵の具を出し過ぎないように注意する。 ○アクリル絵の具は乾くと色が落ちないので、衣服につかないよう注意する。 ○色をつける際には、水は少な目がよい。 ○新聞紙上からしっかりとこする。 ○ドライヤーは各班1つ。交代で使う。 ○色を重ねぬりする場合は必ず一度乾かしてからぬる。(ドライヤーを使用するとよい) ○必要に応じて、名前や言葉などを書く。		
まとめ	○片づけをする。 ○お互いの作品を発表し合い、よさを認め合う。					
評価	○葉っぱの形や葉脈などにおもしろさや不思議さを感じることができたか。 ○想像力をはたらかせて、自由に楽しみながら作品をつくることができたか。					
発展	○自然遊びで使ったり集めたりした落ち葉を活用すれば、身近な自然物への興味の高まりや喜びも増え、より効果的な活動となる。					